

第55回建設事業ノーダン運動一斉パトロールに愛媛労働局 田中局長が参加し、労働災害防止対策の充実・強化を要請

平成25年1月24日

担当：愛媛労働局労働基準部健康安全課

- 平成24年の労働災害による死傷者数は、全国的に平成23年に比べて増加していることから、労働災害防止に向けた集中的な取組を行っており、この取組の一環として、「第55回建設事業ノーダン運動」(*)が愛媛県下で展開されています。平成25年1月10日(木)には県下10地域の36か所の工事現場において127人が参加し、一斉に安全パトロールが行われました。

(*)「建設事業ノーダン運動」は、野球用語の「ノーダウン(無死)」から命名されたもので、愛媛県下の建設事業から死亡災害を絶滅させる目的のもと、建設業労働災害防止協会愛媛支部が主催し、愛媛労働局及び愛媛県等関係行政機関、建設業団体等が一体となって実施する愛媛独自の災害防止活動で、昭和33年から展開されているものです。

- 愛媛労働局及び各労働基準監督署からも、建設業における死亡災害の防止を図るため、安全衛生担当者がこの一斉パトロールに参加し、このうち、伊予市保健センター新築工事現場(伊予市尾崎3丁目3-3、発注：伊予市、施工：五洋・国際土建共同企業体)において行われたパトロールには、田中局長が自ら参加し、墜落・転落災害を始めとする労働災害の防止対策の充実・強化を要請しました。

- 伊予市保健センター新築工事現場の一斉パトロールで挨拶する愛媛労働局・田中局長



○ 主催者を代表して挨拶する建設業労働災害防止協会愛媛支部・西岡支部長



○発注者を代表して挨拶する伊予市 武智建設課長



- 工事施工者(押切工事所長)から現場で説明を受ける田中局長



- 現場巡視後、報道機関からインタビューを受ける田中局長



- パトロールに先立ち、主催者を代表して建設業労働災害防止協会愛媛支部・西岡支部長の、「一人ひとりが安全意識を高め労働災害に取り組んでいこう」との挨拶を受けた後、田中局長が挨拶し、「死亡災害につながる墜落・転落、崩壊・倒壊、建設機械・クレーン等災害の防止を最重点として、労働災害の防止に努めていただきたい」と、労使関係者に訴えました。

- 工事発注者の伊予市から、「人命尊重の基本理念の下、労働災害防止対策を進め無災害で工事を完成していただきたい」との挨拶の後、工事施工者の押切工事所長から、「工事の概要」・「工事の安全衛生の方針と取組」等について説明があり、その後、現場巡視を行いました。

- 平成24年に愛媛県下で発生した労働災害による死傷者数は、平成24年12月末現在の速報値で1,444人で、昨年同時期の集計値よりも56人(4.0%)増加しています。このうち、建設業の死傷者数は218人で、前年同時期から34人の増加となりました。全業種の死亡者数は16人で、このうち建設業では、前年同時期から1人増加の4人となり、事故の内容は、墜落・転落災害で3人、転倒災害で1人の方が亡くなっています。